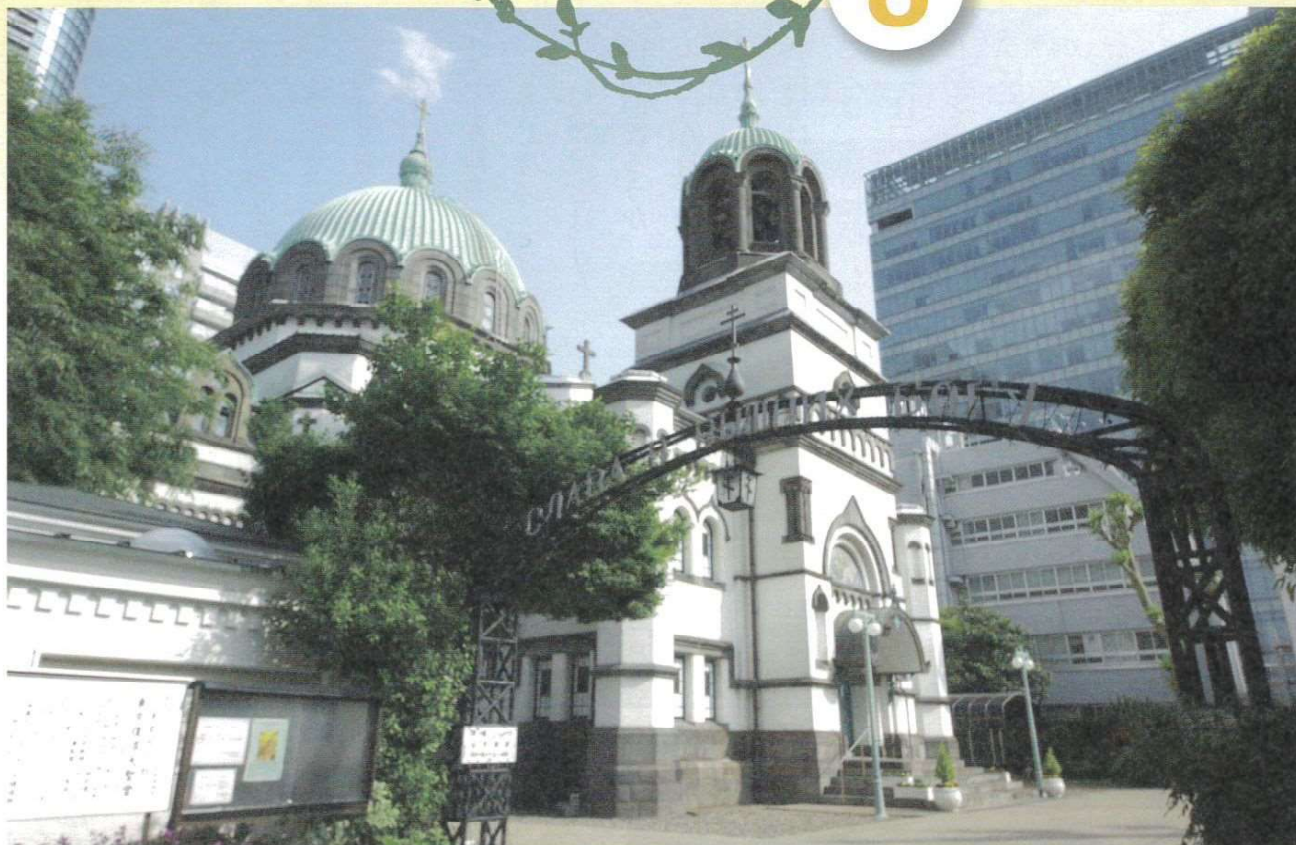


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
発行人 山崎 哲  
編集長 仲井 真裕  
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう  
願いに生きる人となる



東京復活大聖堂(ニコライ堂)千代田区

## 今月の予定

### 8月

4日(水) 燈虹塾オンラインセミナー

13日(金)～16日(月) 盂蘭盆会

### 9月

1日(水) 燈虹塾オンラインセミナー

※コロナ禍でありますので、予定は変更することがあります。  
詳しくは寺務所までお問合せください。

◎一般的に、東京のお盆は7月とされて  
いますが、8月のお盆にも、  
どうぞお参りください。



## 顧問の一言

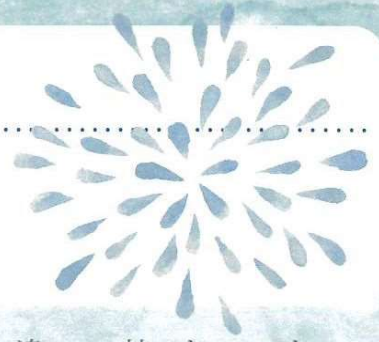
みだ ほんがん  
弥陀の本願

「あらゆる人間の、外面がど  
んなに違っていても人間とし  
て、みな、等し  
くもっている  
もの、一つに  
なれるもの」  
それが私の  
いのちの奥  
義だと教えら  
れています。



# 8月の山門の言葉

## はかる 思い はかれぬ いのち



この2年程で日本の出生数が減少し、過去最少を更新することが、ほぼ確実になるとのこと。

お気づきかと思うが、その背景には新型コロナウイルスが「産み控え」との考えを示しているようだ。

「産み控え」、私としては初めて聞く言葉で一瞬違和感を覚えたが、親が子を思うからこそその選択であり、生まれてくる子供には、安心して暮らせることを誰もが願うからであろう。

しかしその一方で、そもそも私たちが頂いたこの「いのち」とは、私たちが思いはかれるようなものなのだろうか。

実は6月、私と妻との間に第一子が誕生した。それこそ現在は安心して子育てが出来るような状況ではないが、その中でも誕生してきてくれたことは、素直に嬉しく思うと同時に、私が子供に、更には「いのち」に対して願っていた様々なこだわりをも破ってくれた。

はからずもこの身を頂いたという事実は、全ての人々に共通する。生まれてきた子供や先立たれた方々を通し、私たちが「生老病死」に触れることで、量りきれない「いのち(無量寿)」の中に生かされていることを、教えていただくのである。

(大橋 伊知郎 記)



みんなは  
こう聞いた!!

七月に掲げた山門の言葉を皆さんはどう聞いたのか、お尋ねしました。

子育てをしていると、選択肢の無い苦しみ、選択肢の有る迷いに直面することが多いと思いました。区立幼稚園に通わせる予定でしたが、無償化で私立幼稚園という選択肢も増えたことで、今は幼稚園選びに悩んでいます。どちらのほう为孩子にとって良い環境か、考え出すときりがありません。

現代はインターネットで情報もたくさんあるので、正解のない子育てにおいて迷いはとても増えていると思います。自分の選択を信じることも大事なのかなと思いました。

インターネットが普及し、あらゆる物の選択肢が増えることは良いことだと思う。しかし悩む時間が増えるほど、決断した後に、他の選択肢の方が良かったんじゃないかと、後悔することも増える。結局は情報の多少に関わらず、自分の決断力がなければスッキリしないのではないか。(30代男性・会社役員)



## 城東ブロック会総会・聞法会

実に1年4か月ぶり! 城東ブロック会総会・聞法会を開催いたしました。

本来であれば、お寺の外へ出かけていくのがブロック会のコンセプトなのですが、コロナ禍のために西徳寺本堂での開催となりました。

聞法会ではコロナ禍をめぐっての物事の考え方と、「生老病死<sup>しょうろうびょうし</sup>」という教えを照らし合わせて考える時間となりました。現在、地球規模でコロナを無くそうと奔走していますが、コロナを始めとした不安におびえる私とは何か。それを明らかにするのがお念仏なのだ<sup>おんぶつ</sup>と教えていただきました。

**次回は10月24日(日)を予定**しています。どなたでもご参加いただけますので、ぜひ一緒に仏様の教えを聞きましょう。(高橋 淳 記)



竹内評議員会会長からのご挨拶を頂戴しました

## 燈虹塾

当会は江戸吉原の文化を改めて調査し、理解し、保存し、愛<sup>め</sup>で、普及することを目的として、台東区の後援を得て発足しました。定期的にご講師をお招きし、本堂で開催していましたが、コロナ禍の現在はビデオ会議アプリ「ZOOM」を用いて、毎月オンラインセミナーの活動をしています。

7月7日は現役の美大生、田邊愛也奈氏よりお話をいただきました。田邊さんは遊郭の存在をコミックや小説でしか知らなかったそうです。しかし、大学での作品制作テーマを「遊郭」としたことがきっかけで全国各地の遊郭を調べ、実際に足を運んで感じ取り、半年かけて「文学と遊郭 —リアルとイメージの間—」と題した作品を仕上げられました。

吉原を調査しているときに、たまたま吉原で生まれ育った燈虹塾理事と出会ったことで、「新たな価値観に気づかれた」と田邊さん。そして、どんな人も一つや二つ隠し事がある、そういう人でもこの街は受け入れてくれるということを感じ、同時に何でもかんでも白か黒で決めつける現代の視点・そこから生まれる新たな苦悩も見えてきたそうです。作品を通しての問題提起は、まさに現代の課題でありました。

**次回は8月4日(水)**、近藤直子先生をお招きして「樋口一葉と龍泉寺町」と題して開催します。スマートフォンがあればどなたでもご参加いただけます。

(高橋 淳 記)



「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。



## 坊さんのツブヤッター

@マーチン



このたくさんの人達も 僕みたいに日常があって いろんな道さがして 自主役の人生えがいてる(いしのだなつよ 「1等星」)  
いつの間にか生まれて 見知らぬ世界に放り出され 訳の解らない一人称 それだけが存在の拠り所 (SHAME 「ANOTHER」)  
見てきた物や聞いた事 いままで覚えた全部 でたらめだったら面白い そんな気持ちわかるでしょう 答えはきっと奥の方 心のずっと奥の方 涙はそこからやってくる 心のずっと奥の方 (THE BLUE HEARTS 「情熱の薔薇」)

#青春時代に聞いていた歌詞 #今聞くと大切なことを言ってる #SHAMEは2代目 桂枝雀の息子 #写真の長女は今6才

## えこお志お礼

世田谷区 阿部 雅栄 様

ご浄財を頂戴いたしまして  
ありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもって  
お礼とさせていただきます。



## 内愚外賢

～賢者の信を聞いて、愚禿が心を顕す～

7月12日から、東京には4回目の緊急事態宣言が発令されました。正直、「またか…」という思いがありますが、頼みのワクチンが不足し、感染者が増加している現状を見ると、仕方がないのかもしれない。

最近また、「清濁併せ呑む」という言葉が大切だと思わされます。清らかさと濁り、どちらも私たちを支えている事柄なのではないでしょうか。一方だけ(特に正義)に立って、相手を非難しては、本当の人間関係は築けないでしょう。

愚痴が出るのは当然です。しかし、数えきれない方々が様々な立場で、私たちの足元を支えてくださっている、そのことは忘れないようにしたいです。多くの矛盾を抱えながらも、与えられている今を生きたいと思います。

(仲井 真裕 記)



大橋家、第1子誕生  
大橋葵くんです

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook